

# 第4回

## 須磨寺旗争奪少年少女野球大会

日 時 : 令和2年8月22日(土) 8時30分～

場 所 : G7スタジアム神戸

主 催 大本山須磨寺

運 営 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟  
神戸西区少年野球連盟

後 援 神戸新聞社

協 賛 須磨区役所  
オリックス野球クラブ株式会社  
ナガセケンコー株式会社  
日本女子プロ野球リーグ

## 第4回須磨寺旗争奪少年・少女野球大会 開会式 式次第

日 時 : 令和2年8月22日(土) 8時30分～  
場 所 : G7スタジアム神戸

- 選手集合 午前 7時50分 グラウンド内
- 開会宣言 西神戸須磨軟式少年少女野球連盟 会 長 志賀 久高
- 国旗掲揚
- 前年度優勝杯・準優勝杯の返還並びにレプリカの授与  
6年生の部 優勝:武庫が丘シルバース 準優勝:南落合BBC  
5年生の部 優勝:本山フレンズ 準優勝:妙法寺少年野球部
- 挨拶  
主催者挨拶 ○ 本大会会長 小池 弘三  
○ 神戸西区少年野球連盟 理事長 室井 紀彦
- 審判長訓示 神戸西区少年野球連盟 審判長 鎌田 浩司
- 選手宣誓 二見TAGタートルズ 主 将 原田 亮虎
- 閉会の言葉 神戸西区少年野球連盟 副理事長 佐伯 康裕
- 選手退場

## 第4回須磨寺旗争奪少年・少女野球大会大会規則

- ① この大会の競技規則は当該年度「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球の関する事項及び下記細則」により試合を行う。大会特別規定を設け、その規定を優先とする。
- ② 試合は7回とし、80分を超えれば新しいイニングには入らない。(時間制を採用する)決められた回数・時間が経過して勝敗の決しない場合は、抽選とする。
- ③ 決勝戦のみ特別ルールを適用する(無死満塁で打順は監督の選択とする。尚も同点の場合は継続打順で行い決着が着く迄行う)
- ④ 6年生、5年生とも決勝戦は7回とし、80分を超えれば新しいイニングには入らない。時間を超えて同点の場合は、特別ルールを適用する。
- ⑤ ベンチにはチーム責任者1名、監督(30番)1名、コーチ(29,28番)2名、スコアラーとし最大4名までとする。監督・コーチは、ユニフォームを着用し、それ以外はユニフォーム着用は認めない。給水係を1名認める。
- ⑥ ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。試合会場を提供したチームは、1塁側もしくは3塁側を選択できることとする。
- ⑦ 大会試合球は連盟公認J球でナガセケンコー球を使用する。
- ⑧ バットは連盟公認(JSBB)のみ使用できる。木製バットも認める。
- ⑨ 捕手は必ず連盟公認のマスク、レガース、プロテクター、ヘルメット、ファールカップを着用すること。
- ⑩ 打者、走者、ベースコーチ、次打者は、必ずヘルメットを着用すること。
- ⑪ 監督・コーチは時間短縮のためタイムを求め、球審が認めたときは、選手に指示を与える。選手交代も同様に時間短縮につとめなければならない。  
なお、抗議できるのは監督のみとする。但しルールの確認行為のみとする。どんな理由があろうと相手チームのプレイヤー及び審判員に対し、悪口・暴言を吐く事を禁ずる。  
\* 4回終了後に5分間の給水タイムを設ける但し攻撃の時間が長引いた時は本部又は審判員の判断により給水タイムを設けるが(給水タイム中はタイマーを停止する)
- ⑫ 試合におけるトラブルなどは球審または審判員の決定に従うこと。
- ⑬ その他、運営面におけるトラブル等は本部役員または担当役員の決定に従うこと。
- ⑭ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切のその責任は持たない。各チームで責任をもって対応すること。
- ⑮ 雨天の際の可否判断はそれぞれの担当役員から連絡するものとする。
- ⑯ 降雨、落雷等により試合を中止した場合、4回終了時で成立する。
- ⑰ 得点差によるコールドゲームを採用する。3回以上10点差、5回以上7点差とする。
- ⑱ シートノックは4分間とする。但しG7スタジアム神戸および1・2回戦のノックはなしとする。
- ⑲ チームは試合開始時間の45分前に本部席にメンバー表4通(G7スタジアム神戸は5通)を提出し、先攻後攻のトスを行なう。
- ⑳ ボークは最初から適用する(5年生は1回注意)